



「市民防災の日」金沢かわら版



令和7年5月号

発行者 「市民防災の日」金沢区推進委員会

いざという時に備えて、

初期消火器具を設置しませんか？

自治会町内会には設置費用の一部を補助します



初期消火器具とは？

初期消火器具には、初期消火箱(固定式)とスタンドパイプ式初期消火器具(可搬式)の2種類があり、消防車が進入できない道路狭隘地域等においても、市民の皆さまが消火栓にホースを直接接続し、有効な初期消火活動を行うことができる消火器具です。

特にスタンドパイプ式初期消火器具は機動性に優れ、容易に取り扱うことができます。

①初期消火箱 ②スタンドパイプ式

初期消火器具での放水の様子



補助を申請するには、次の3つを満たす単一の自治会町内会が、対象となります。

- 1 地域に消火栓がある。
- 2 家屋が密集し、火災が発生した場合に延焼拡大の恐れがある。
- 3 定期的に訓練を実施できる。

詳しくはこちら

○「横浜市 初期消火器具」で検索

○2次元コード



補助申請は、9月30日まで！

最寄りの消防署又は消防出張所にお問合せください。

金沢消防署 予防係	東富岡 消防出張所	六浦 消防出張所	富岡 消防出張所
781-0119	774-0119	786-0119	772-0119
釜利谷 消防出張所	幸浦 消防出張所	能見台 消防出張所	
782-0119	785-0119	787-0119	

岩手県大船渡市林野火災に緊急消防援助隊を派遣

岩手県大船渡市で発生した林野火災に伴い、横浜市消防局では3月2日から3月10日までの間、緊急消防援助隊の神奈川県大隊として、消防航空隊と陸上部隊の延べ約350人を派遣しました。

金沢消防署からは、釜利谷消防隊、六浦消防隊、能見台特別救助隊が派遣され、過酷な火災現場で、消火活動などを行いました。



緊急消防援助隊とは、大規模災害などが発生した場合に、被災地の消防機関では対処できないことがあります。そのような場合に、被災地からの要請を受け、各都道府県の消防本部や航空隊が、消防庁長官の出動指示などを受けて、被災地に迅速に出動します。



大船渡市へ出発する釜利谷消防隊



消防航空隊による空中消火活動の様子



落葉を掻き分け、残り火の消火をする様子



倒れた木の間の残り火の消火をする様子

金沢消防署から派遣され、消火活動をした消防隊員の声

- ・1次派遣 釜利谷消防隊 内村 消防士
金沢消防署を代表して、被災された方々のために尽力できて光栄でした。
- ・2次派遣 六浦消防隊 藤永 消防士
岩手県民の皆様から避難生活などで大変な中、ご支援いただいたおかげで円滑に消火活動が行え、火勢を鎮圧することができました。
- ・3次派遣 能見台特別救助隊 境 消防司令補
資機材を背負い険しい山道を進むことは容易ではありませんが、一刻も早く大船渡の皆様に「日常を取り戻してほしい」という思いで活動しました。



神奈川県内の消防本部から、300名を超える隊員でローテーションを組み、24時間の火災対応をしました。隊員はきつい活動でしたが、地元の方には温かく迎えていただき、励ましや多くの感謝の声をいただいたことは、我々の大きな力になりました。

横浜もいつ大きな災害に見舞われるかわかりませんが、その時は緊急消防援助隊が来てくれると思うと心強いものがあります。

神奈川県大隊 星 大隊長
(金沢消防署 警防課長)

